

## 平成29年度 部局長マネジメント方針

副市長 たちばな 立花 しずか 静



### 私の決意

私が副市長に就任させていただき、2期5年目を迎えました。この間、民生保健分野を中心に、また、昨年度からは建設水道の分野も担当させていただいておりますが、一貫して、市民の皆様が将来にわたって安心して生活を送れるよう、東大阪市が持続可能なまちとして発展していくことを念頭に取り組んでいるところであります。

昨今では、個人や世帯が抱える問題も複雑、多問題化の傾向にあり、様々な分野にまたがって支援を必要とする方も増えてきている状況です。

こうした中、国においては、本年2月に、地域共生社会の実現に向けて、『我が事』・『丸ごと』の地域づくりを育む仕組みへの転換に向け取り組みを進めることが打ち出されました。

本市においても、様々な問題に包括的に対応していくこと、また、地域の実情に応じて分野をまたいで総合的な支援を提供できるよう、庁内横断した取り組みを進めてまいります。

まず、東大阪市版地域分権に向けた取り組みですが、平成25年度からまちづくり意見交換会等を通じて様々なご意見を頂戴しているところであり、今年度は、これら意見や昨年度設置をいたしました東大阪市協働のまちづくり推進審議会等での検討を踏まえ、多様な主体が地域の課題を共有、協働して、自主的に地域で解決できる仕組みの構築を進めてまいります。

次に、子どもの貧困対策ですが、未来を担う子どもたちは社会全体の宝です。

子どもたちの将来が、生まれ育った環境に左右されないことがないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することがないような環境整備や教育の機会均等を図ることが必要だと考えております。

このことから、今年度は、子どもの生活に関する実態調査を進めるとともに、対策にかかる基本的な計画を策定してまいります。

次に、人口減少や高齢化の進展に伴い、本市においても空き家が増加している状況で、一部では適正な管理がなされておらず危険な状態になっている家屋等も見受けられます。

このことに対応するために、今年度、建設局建築部に空家対策課を設置いたしました。

今後、実地調査による実態把握を行い、特に、放置すれば倒壊等著しく保安上危険である

などの特定空家等の判定と指導を進めていくことで、安全で良好なまちづくりに努めてまいります。

最後に、ラグビーワールドカップ 2019 花園開催に向け、観戦者が訪れやすくなるように周辺道路の整備を進めます。また、花園ラグビー場への鉄道の玄関口である東花園駅前広場及びラグビー場までの歩行者アクセスが、安全で快適なものとなるよう今年度中に着実に整備を行ってまいります。